

問題1
 回答
 (1)

シングル・プラン (単位:円)

仕掛品			
月初仕掛品	580,000	製 品	69,300,000
直接材料費	10,000,000	月末仕掛品	800,000
直接労務費	39,680,000		
製造間接費	19,840,000		
	<u>70,100,000</u>		<u>70,100,000</u>

(2)

パーシャル・プラン (単位:円)

仕掛品			
月初仕掛品	580,000	製 品	69,300,000
直接材料費	10,033,000	月末仕掛品	800,000
直接労務費	39,721,500	原価差異	207,500
製造間接費	19,973,000		
	<u>70,307,500</u>		<u>70,307,500</u>

解説

(1)

生産データの整理

仕 掛 品

月初 50 (40)	完成 4,950 (4,950)
当月 5,000 (4,960)	月末 100 (50)

(注)シングルプランなので仕掛品には標準原価カードをもとに「標準」を記入する
 月初仕掛品: $2,000円 \times 50個 + (8,000円 + 4,000円) \times 50個 \times 0.8 = 580,000$

当月投入額

直接材料費: $2,000円 \times 5,000個 = 10,000,000$

直接労務費: $8,000円 \times 4,960個 = 39,680,000$

製造間接費: $4,000円 \times 4,960個 = 19,840,000$

完 成: $14,000円 \times 4,950個 = 69,300,000$

月末仕掛品: $2,000円 \times 100個 + (8,000円 + 4,000円) \times 100個 \times 0.5 = 800,000円$

(2)

(注) パーシャルプランなので実際発生額を仕掛品に記入し、貸借差額が原価差異になる。
ただし、月初仕掛品、月末仕掛品については「標準」額を記入する。

問題2

回答

(1)

シングル・プラン				(単位:円)
				仕掛品
月初仕掛品	171,600	製 品	980,000	
直接材料費	240,000	月末仕掛品	57,200	
直接労務費	184,000			
製造間接費	441,600			
	<u>1,037,200</u>			<u>1,037,200</u>

(2)

パーシャル・プラン				(単位:円)
				仕掛品
月初仕掛品	171,600	製 品	980,000	
直接材料費	262,000	月末仕掛品	57,200	
直接労務費	178,000	数量差異	7,500	
製造間接費	490,000	価格差異	14,500	
貸率差異	14,000	作業時間差異	8,000	
操業度差異	10,000	能率差異	54,400	
		予算差異	4,000	
	<u>1,125,600</u>			<u>1,125,600</u>

解説

生産データの整理

仕 掛 品

月初 300 (120)	完成 1,000 (1,000)
当月 800 (920)	月末 100 (40)

(1)

(注) シングルプランなので仕掛品には標準原価カードをもとに「標準」を記入する

月初仕掛品: $300円 \times 300個 + (200円 + 480円) \times 300個 \times 0.4$

当月投入額

直接材料費: $50円 \times 800個 \times 6kg = 240,000$

直接労務費: $40円 \times 920個 \times 5時間 = 184,000$

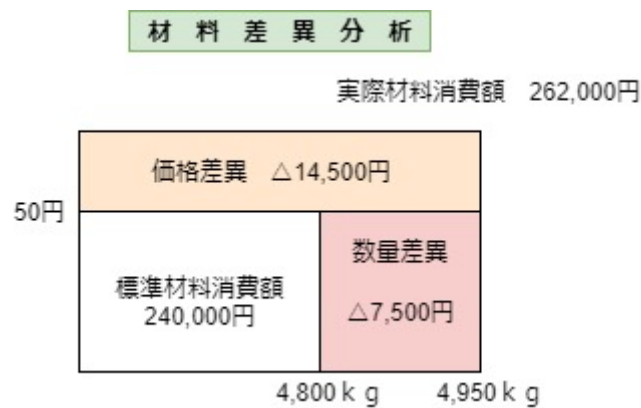
製造間接費: $80円 \times 920個 \times 6時間 = 441,600$

完 成: $980円 \times 1000個 = 980,000$

月末仕掛品: $300円 \times 100個 + (200円 + 480円) \times 100個 \times 0.4 = 57,200円$

(2)

材料費差異

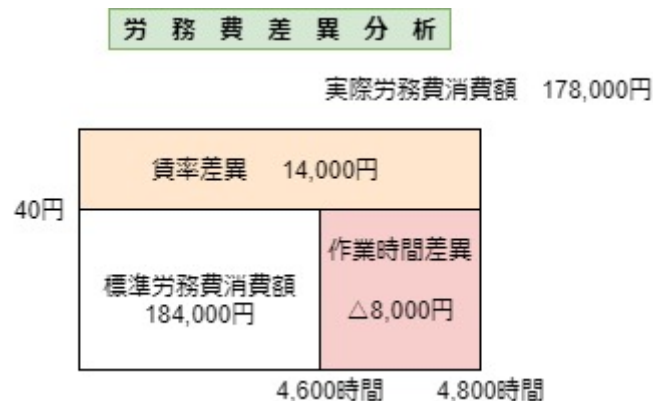


数量差異: $(4,800kg - 4,950kg) \times 50円 = \Delta 7,500円$

賃率差異: 実際単価が不明なため実際材料消費額から求める。

$$(50円 \times 4,950kg) - 262,000円 = \Delta 14,500円$$

労務費差異



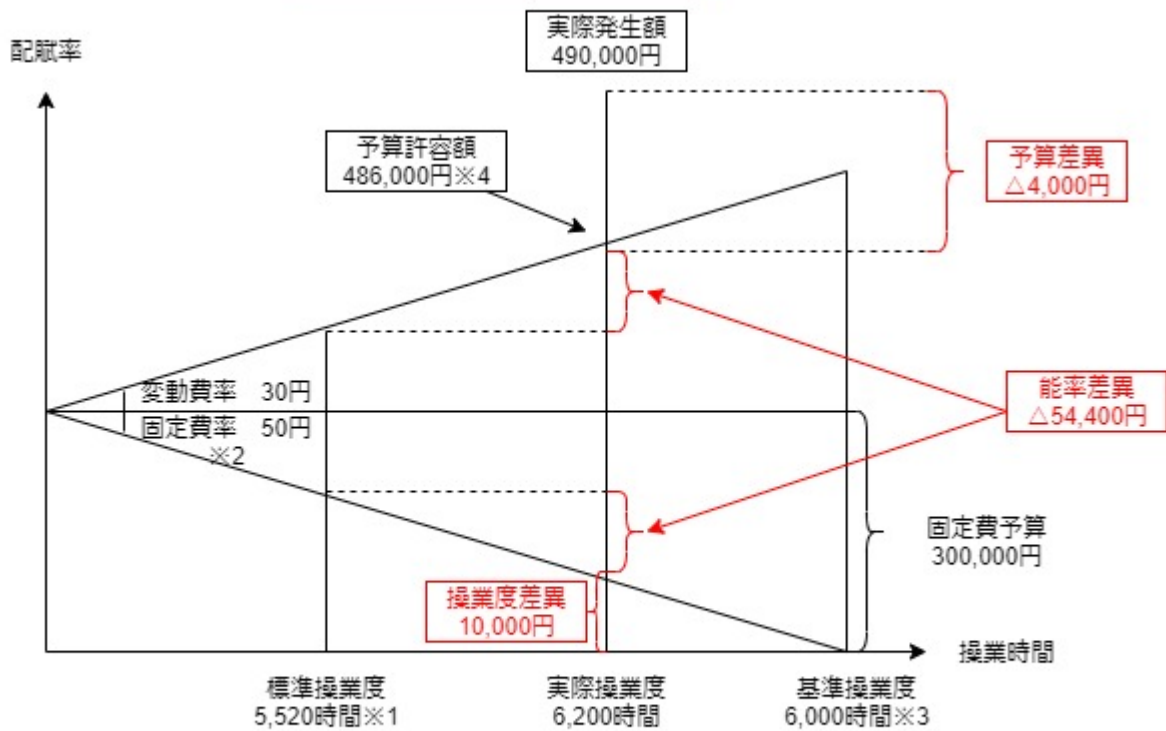
作業時間差異: $(4,600時間 - 4,800時間) \times 40円 = \Delta 8,000円$

賃率差異 : 実際賃率が不明なため実際労務費からとめる。

$$(40円 \times 4,800時間) - 178,000円 = 14,000円$$

製造間接費差異

製造間接費差異分析



- ※1 (加工換算量) 920個×6時間 = 5,520時間
- ※2 標準配賦額80円-変動費率30円 = 固定費率50円
- ※3 固定費額300,000円+50円 = 6,000時間
- ※4 変動比率30円×6,200時間+固定費率300,000 = 486,000円

予算差異: $(30円 \times 6200時間 + 300,000円) - 490,000円 = \Delta 4,000円$

操業度差異: $(6200時間 - 6000時間 \times 3) \times 50円 \times 2 = 10,000円$

能率差異: $(5,520時間 \times 1 - 6,200時間) \times 80円 (標準配賦率) = \Delta 54,400円$

(注) 有利差異を借方に、不利差異を貸方に記入することに注意